INABA DENKI
因幡電機産業株式会社
http : www.firepro.jp/
●技術開発センター　TEL（06）6618-1784　FAX（06）6618-1787

20150205－01

ケーブルの防火区画貫通部耐火措置部材

IKT 耐火パテラック　取扱説明書

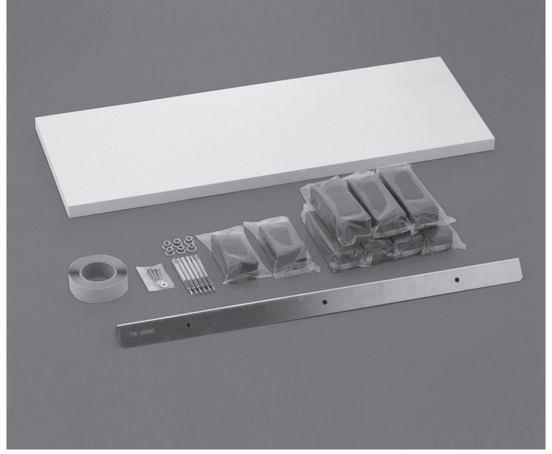
国土交通大臣認定番号：PS060FL-0309（床）
：PS060WL-0311（壁）

ご注意

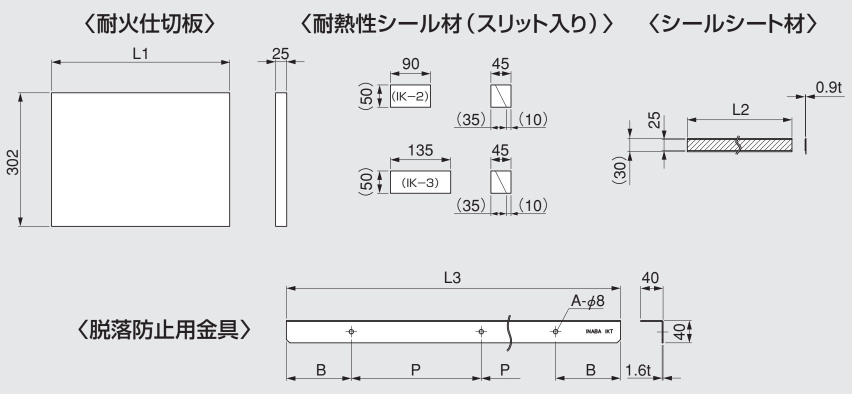
1.施工は内線規定に基づいて行なってください。
2.ご使用の際は、本取扱説明書及び認定書をよくお読みください。
3.ケーブルサイズ選定の際には、認定書に記載の開口寸法及び占積率を共に満たすことをご確認ください。
4.耐火仕切板の切断時は、粉塵装置をつけたり、マスクをするなどの措置をしてから作業を行なってください。
5.シールシート材は、必ず耐火仕切板と壁又は床の間、及び耐火仕切板同士の合わせ面にはさんで取り付けてください。
6.付属の脱落防止用金具は、壁貫通の際、ケーブル及びケーブルラック周囲の耐熱性シール材（IKパテ）の支持・固定用に必要ですので必ずご使用ください。
7.貫通しているケーブル数量によっては、耐熱シール材が不足する場合があります。その際は、別売（IK-3）をお買い求めください。
8.電線管（合成樹脂製、鋼製）の貫通はできません。
9.中空壁の施工は、認定範囲外となります。使用の際は、事前に所轄の官公庁にお問い合わせください。
10.作業時には軍手などを着用し、IKパテを充填される場合には付属のポリ手袋もご使用ください。
11.屋外でご使用の場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。

■仕様

IKT 耐火パテラック



寸法図



単位：mm

型番	適用開口穴（mm）	適合ケーブルラック幅（mm）	部品寸法及び数量											取扱説明書（枚）	工法※シール（枚）
			L1	L2	L3	A（孔数）	B	P	IK-2（個数）	IK-3（個数）	アンカー（個数）	ワッシャー（個数）	コンクリートネジ（個数）		
IKT-3020	300×200	200	400		300	2	75	150	1	4	6	2	2	1	1
IKT-4020	400×200	300	500	2300	400	2	100	200	1	5	6	2	2	1	1
IKT-5020	500×200	400	600		500	2	125	250	2	5	6	2	2	1	1
IKT-6020	600×200	500	700		600	2	150	300	2	6	6	2	2	1	1
IKT-7020	700×200	600	800	3200	700	3	116.5	233.5	2	7	6	3	3	1	1
IKT-8020	800×200	700	900		800	3	133.5	266.5	1	9	8	3	3	1	1
IKT-9020	900×200	800	1000		900	3	150	300	1	10	8	3	3	1	1
IKT-10020	1000×200	900	1100	4400	1000	4	125	250	0	12	8	4	4	1	1
IKT-11020	1100×200	1000	1200		1100	4	137.5	275	2	12	8	4	4	1	1
IKT-12020	1200×200	1000	1300		1100	4	137.5	275	1	13	8	4	4	1	1

※施工後の建築検査などで弊社製品であることをご確認いただけるように独自の工法シール（ケーブル防火貫通部措置工法シール）を同梱していますのでご活用ください。
施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。
別途ケーブル防災協議会発行の工法表示ラベルをご要望のお客様はお問い合わせください。

■認定範囲

最大開口面積	0.6m²
占積率	16%以下
適用可能最大ケーブルサイズ	6kV　325mm²
区画の構造	鉄筋コンクリート又はALC　厚さ100mm以上

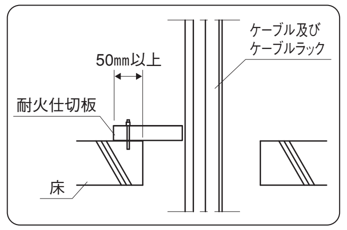
■ 床施工手順（床上）

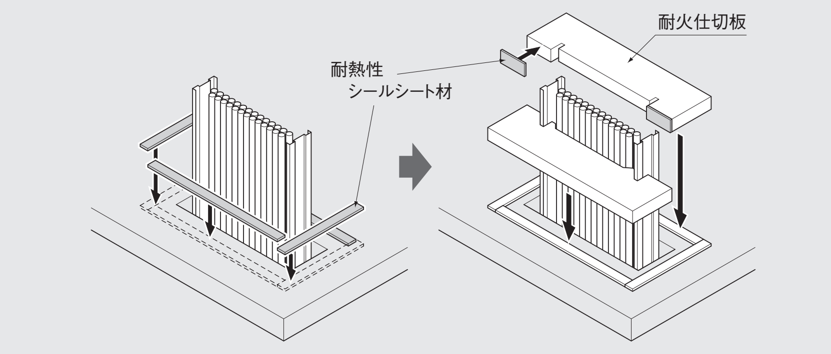
①耐熱性シールシート材の貼り付け

切断加工された耐火仕切板と床とのかかり代（周囲）及び耐火仕切板同士の合わせ面の寸法に耐熱性シールシート材を切断し、離型紙を外して貼り付けてください。

（注）シールシート材を貼り付ける際、テープなどで仮固定して取り付けてもかまいません。

（注）耐火仕切板と床とのかかり代は50㎜以上必要です。



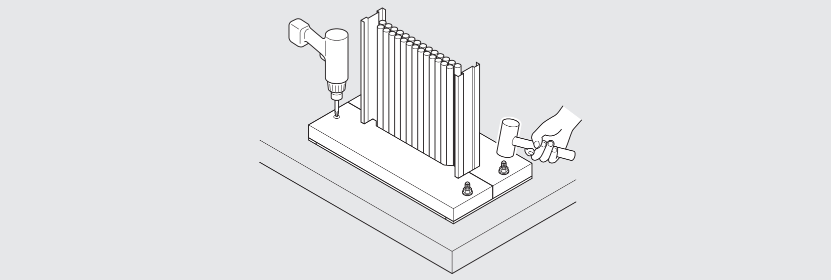


②耐火仕切板の取付け

位置決めした後、耐火仕切板をケーブルに沿うように3～4㎜大きめにカットし、アンカー用下穴をあけてください。床面にもアンカー用の下穴をあけ、ケーブルと耐火仕切り板の隙間（25㎜分）を厚さ3～4㎜にカットしたIKパテで密に充てんした後、アンカー（M8×90）で固定してください。

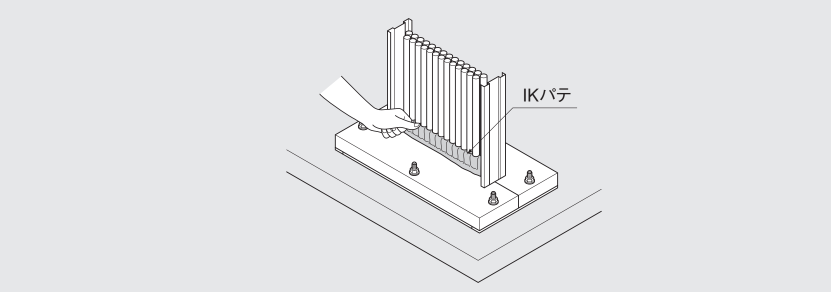
（注）アンカー穴明け用ドリルのサイズはφ8.4です。

（注）下穴を開ける際は、シールシート材の位置を確認し、一緒に開けてください。



③耐熱性シール材（IKパテ）の充てん -1

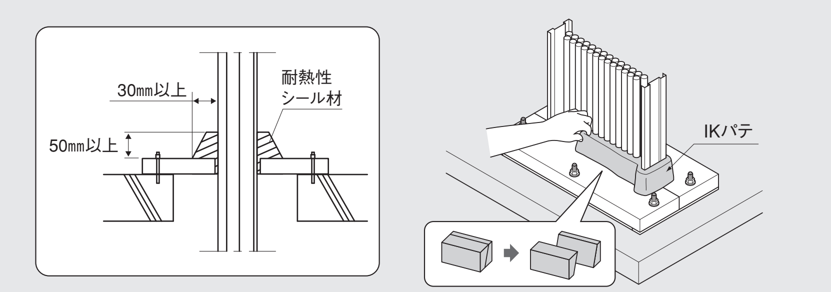
ケーブル同士、ケーブルと耐火仕切板の隙間をIKパテを用いて密に充てんする。



④耐熱性シール材（IKパテ）の充てん -2

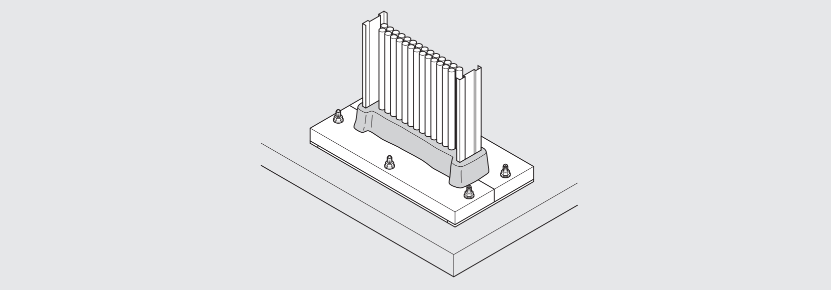
耐火仕切板の表面から50㎜、幅30㎜以上となるようにIKパテを盛り上げて、隙間などない事を確認して仕上げてください。IKパテにはスリットが入っており、施工しやすくなっています。

（注）IKパテと耐火仕切板の密着部分は必ず、耐火仕切板の表面（粉、ほこりなど）をウエスなどで拭き取り、施工してください。

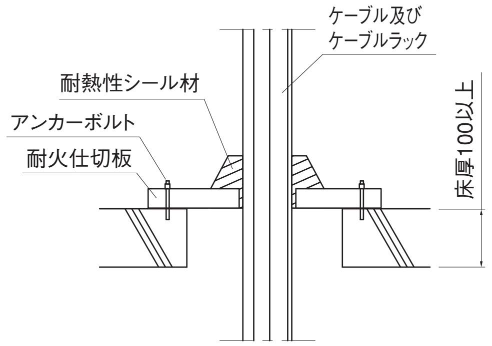


⑤仕上がり形状の確認

IKパテの脱落や、ケーブルとの隙間がないように、仕上がり形状を確認してください。



床工法　施工断面図



国土交通大臣認定番号：PS060FL-0309（床）

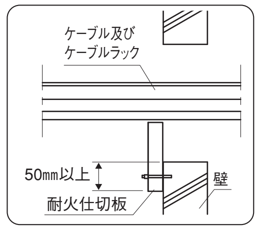
■ 壁施工手順（壁片側）

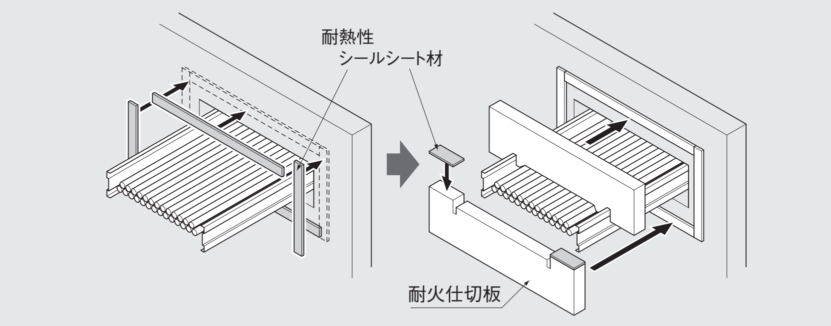
①耐熱性シールシート材の貼り付け

切断加工された耐火仕切板と壁とのかかり代（周囲）及び耐火仕切板同士の合わせ面の寸法に耐熱性シールシート材を切断し、離型紙を外して貼り付けてください。

（注）シールシート材を貼り付ける際、テープなどで仮固定して取り付けてもかまいません。

（注）耐火仕切板と壁とのかかり代は50㎜以上必要です。



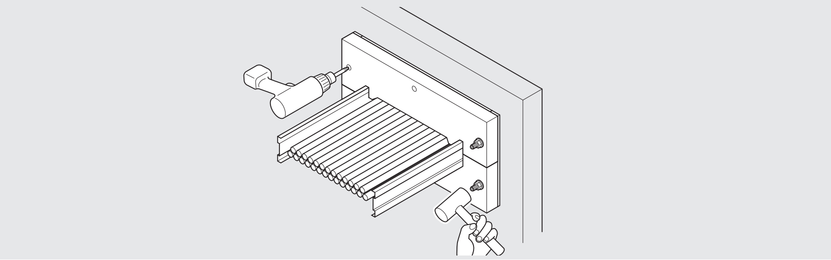


②耐火仕切板の取付け

位置決めした後、耐火仕切板をケーブルに沿うように3～4㎜大きめにカットし、アンカー用下穴をあけてください。壁面にもアンカー用の下穴をあけ、ケーブルと耐火仕切り板の隙間（25㎜分）を厚さ3～4㎜にカットしたIKパテで密に充てんした後、アンカー（M8×90）で固定してください。

（注）アンカー穴明け用ドリルのサイズはφ8.4です。

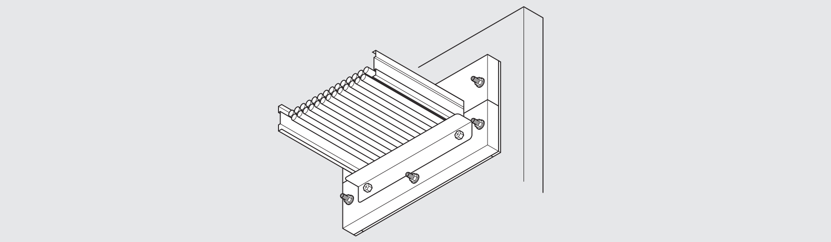
（注）下穴を開ける際は、シールシート材の位置を確認し、一緒に開けてください。



③脱落防止金具の取付け

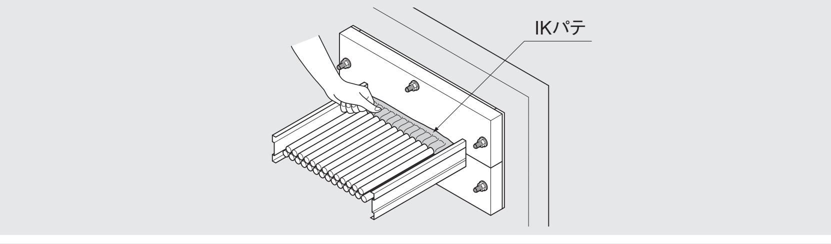
耐熱性シール材（IKパテ）の脱落防止用として、ラック下側から6～7㎜の位置に金具の上面がくるようにコンクリートネジとワッシャーを用いて取り付ける。

（注）コンクリートネジを締め過ぎますと、空回りの原因となりますので、固定の確認をしながら閉め込んでください。



④耐熱性シール材（IKパテ）の充てん -1

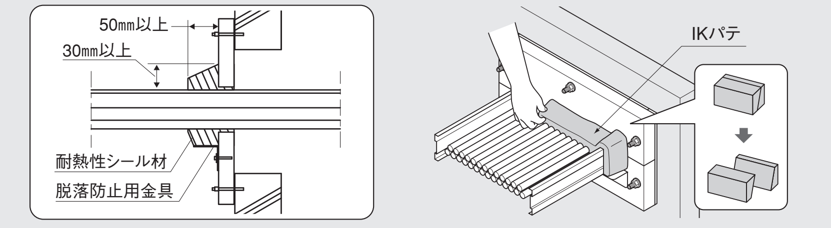
ケーブル同士、ケーブルと耐火仕切板の隙間をIKパテを用いて密に充てんする。



⑤耐熱性シール材（IKパテ）の充てん -2

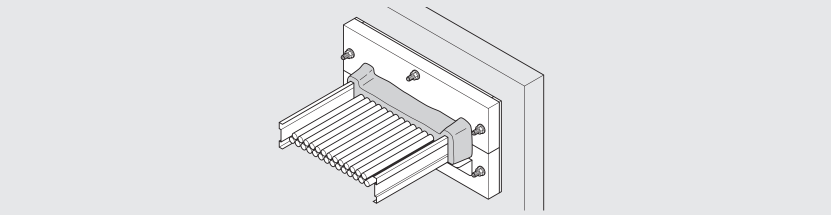
耐火仕切板の表面から50㎜、幅30㎜以上となるようにIKパテを盛り上げて、隙間などない事を確認して仕上げてください。IKパテにはスリットが入っており、施工しやすくなっています。

（注）IKパテと耐火仕切板の密着部分は必ず、耐火仕切板の表面（粉、ほこりなど）をウエスなどで拭き取り、施工してください。

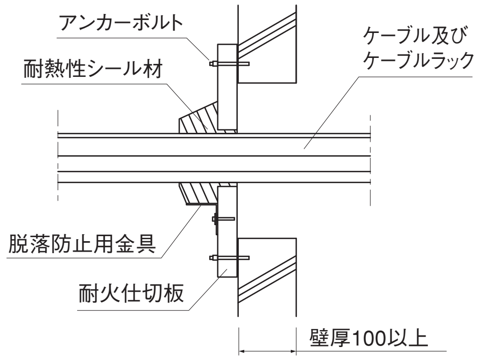


⑥仕上がり形状の確認

IKパテの脱落や、ケーブルとの隙間がないように、仕上がり形状を確認してください。



RC,ALC壁工法　施工断面図



国土交通大臣認定番号：PS060WL-0311（壁）